

松本大学学則

第1章 総 則

第1条 本学は松本大学と称する。

(目 的)

第2条 本学は、教育基本法及び学校教育法の趣旨に則り、本学園創立の精神たる自主独立に基づく人間教育を行うことにより、地域社会の振興と地域文化の発展に資する人材を育成し、もって平和で豊かな社会の創造に貢献することを目的とする。

(自己評価等)

第3条 本学は、教育水準の向上を図り、大学としての目的及び社会的使命を達成するため、教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価を行う。

2 前項の点検及び評価を行うにあたり、項目の設定、実施体制等については別に定める。

第2章 大学院、学部、学科、学生定員、修業年限及び教育研究上の目的

(学科及び学生定員)

第4条 本学において設置する学部・学科及びその学生定員は次のとおりとする。

学 部	学 科	入学定員	収容定員	
総合経営学部	総合経営学科	90名	360名	
	3年次編入学	5名	10名	
	観光ホスピタリティ学科	80名	320名	
	3年次編入学	5名	10名	
学 部	学 科	入学定員	収容定員	
人間健康学部	健康栄養学科	70名	280名	
	3年次編入学	5名	10名	
		(2学級)	(8学級)	
	スポーツ健康学科	100名	400名	
	3年次編入学	5名	10名	
学 部	学 科	入学定員	収容定員	
教育学部	学校教育学科	80名	320名	

2 各学部及び学科の教育研究上の目的については次のとおりとする。

【総合経営学部】

地域社会の総合的運営に関わる研究を推進し、それを基盤に、社会を構成する諸組織体のマネジメントに関する理解と能力を高めつつ、地域社会を総合的に捉える素養と、それにもとづく総合的な経営能力を養う。もって活力ある地域社会の創造に貢献しうる人材を養成する。

〈総合経営学科〉

社会一般及び地域社会を構成する重要な要素である企業に関わる総合的な経営知識を教授し、地域社会の運営を視野に入れて行動しうる、良識ある企業人の養成を目指すとともに、企業社会で活動するための知識・技術を涵養する。

〈観光ホスピタリティ学科〉

ホスピタリティの精神・技術を活かし我が国観光の発展に寄与するとともに、持続可能な観光と福祉社会の基盤となる地域づくりに貢献するため、地域社会全体の運営にかかわる知識・技術を身につけた人材を養成する。同時に、現代的課題である万人対応型の観光に資する能力をも涵養する。

【人間健康学部】

美しく豊かな自然に恵まれた環境のなかで、創造性に富み、人間性や社会性が豊かな人づくりを目指し、「食と栄養」、「運動・スポーツ」を通して社会の活性化を図るとともに、人々の健康の維持・増進を図り、医療・福祉の向上に寄与することを目的とする。

〈健康栄養学科〉

- (1) 疾病を予防し、健康を維持・増進する食生活を実現するために、食や健康そして障がいに関わる問題を教育・研究する。
- (2) 人間の栄養状態を的確に把握し、適正化する方法を健康科学の面から探求し、専門分野において社会に貢献できる人材を育成する。
- (3) 人々の健康づくりおよび、地域の活性化に関わる課題を「人間栄養学」の視点から健康と栄養との関係を捉え、総合的に分析、評価できる高い専門性を備えた人材を育成する。

〈スポーツ健康学科〉

- (1) 人々の健康づくりおよび、地域の活性化に関わる課題を「運動・スポーツ」の視点から研究・教育する。
- (2) 幅広い教養と人間力を土台に、「運動・スポーツ」を学際的・総合科学的視点から捉え、多角的に分析・把握できる高度な専門性と実践力を備えた人材を育成する。

【教育学部】

人類が永年の営みの中で創造し発展させてきた文化や科学を継承するという、教育に課せられた崇高な使命を遂行する人材を育成する。知的好奇心を喚起する分かりやすい授業展開に加え、子どものこころと身体を理解し、固有の成長に寄り添い見守るという教育者としての基本を大切にしながら、教育の現代的課題に対応すべく、地域の小学校や社会との連携を強化し、実践的な力を身に付けた人材を育成する。

〈学校教育学科〉

- (1) 小学校教諭一種免許及び特別支援学校教諭一種免許、中学校教諭一種免許（英語）、高等学校教諭一種免許（英語）の取得を通じて、地域の初等教育に責任を持って取り組み、自己研鑽を弛まなく続ける人材を育成する。
- (2) 教員としての資質向上に加え、教員集団の一員として総合的な教育力を発揮できる素養と組織力を、現場の教員はもとより地域と連携した教育活動を通じて身に付け、それを学級運営や学校経営に活かす能力を養う。
- (3) 教育学に関する専門知識を培い、子どもへの理解を深めることを通じて、市民道徳を遵守し他者を尊重しつつ、広く社会で活躍できる有為な人材を育成する。

(修業年限及び在学年数)

第5条 本学の修業年限は4年とする。

- 2 学生は8年を超えて在学することはできない。ただし、教授会の議を経て学長が所定の年限を超えて在学することもやむを得ないと認めた場合は、この限りではない。

(大学院)

第6条 本学に大学院を置く。

- 2 大学院の学則は別に定める。

第3章 学年、学期及び休業日

(学 年)

第7条 学年は4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(学 期)

第8条 学年を次の2学期に分ける。

前学期 4月1日から9月30日まで

後学期 10月1日から翌年3月31日まで

(休業日)

第9条 休業日は次のとおりとする。

日曜日及び国民の祝日に関する法律に規定する休日

本学の開学記念日(4月28日)

春期休業日 夏期休業日 冬期休業日 (当該学年暦による)

- 2 必要がある場合、学長は、前項の休業日を臨時に変更することができる。
- 3 第1項に定めるもののほか、学長は、臨時の休業日を定めることができる。

第4章 入学、転学、転学科、退学、除籍、休学及び復学

(入学の時期)

第10条 入学の時期は学年の始めとする。

- 2 前項の他にも、教授会の審議の上、学長が必要と認めた場合は、学期の区分に従い入学することができる。

(入学資格)

第11条 本学に入学することのできる者は、次の各号の一に該当する者とする。

- (1) 高等学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者
- (3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 文部科学大臣の指定した者
- (6) 大学入学資格検定規程(昭和26年文部省令第13号)により文部科学大臣の行う大学入学資格検定に合格した者

(入学の出願)

第12条 本学に入学を志願する者は、本学所定の書類に受験料を添えて提出しなければならない。なお、提出の時期、方法、提出すべき書類等については別に定める。

(入学者の選考)

第13条 前条の入学志願者については、別に定めるところにより、選考を行う。

(入学手続き及び入学許可)

第14条 前条の選考の結果に基づき合格の通知を受けた者は所定の期日までに、保証人連署の誓約書その他本学所定の書類を提出するとともに、所定の入学金、授業料、その他の納入金を納付しなければならない。

- 2 学長は、前項の入学手続きを完了した者に入学を許可する。

(転学・転入学・編入学)

第15条 本学から他の大学に転学を希望する者は、理由を具し、本学学長の許可を得なければならない。

- 2 本学に他の大学より転入学を志願する者があるときは、選考の上、相当年次に入学を許可することができる。

- 3 他の大学2年修了者、短期大学又は高等専門学校卒業者、専修学校課程修了者（学校教育法第82条の10に規定する者に限る）が編入学を希望する場合は相当年次に入学を許可することがある。
- 4 前項の規定により入学を許可された者の既に修得した授業科目及び単位数の取扱い並びに在学すべき年数については、教授会の議を経て学長が決定する。
- 5 資格取得に係る課程をもつ学科への転入学、編入学の制限等については別に定める。

（転学部・転学科）

第16条 本学の学生で、他の学部または同一学部の他の学科に転学部または転学科を願い出る者がいるときは、選考の上、これを許可することができる。

- 2 転学部・転学科に関する規程は別に定める。

（退学）

第17条 退学しようとするものは学長の許可を受けなければならない。

（休学）

第18条 疾病その他やむを得ない事情により2ヶ月以上修学することのできない者は、学長の許可を得て休学することができる。

- 2 疾病その他の事由で修学することが適当でないと認められる者については、学長は休学を命ずることができる。

（休学の期間）

第19条 休学の期間は1学期を以って単位とするが、1年を超えることはできない。ただし、特別の事由がある場合は、引続き更に1年まで延長することができる。

- 2 休学の期間は通算して4年を超えることができない。
- 3 休学の期間は第5条第2項の在学年限に算入しない。

（除籍）

第20条 次の各号の一に該当する者は、教授会の議を経て学長が除籍する。

- (1) 第5条第2項に定める在学年限を超えた者。ただし、第5条第2項の但し書きに該当する者を除く。
- (2) 第19条第2項に定める休学の期間を超えてなお修学できない者
- (3) 疾病その他の事由により成業の見込みがないと認められる者
- (4) 授業料、その他の納入金を所定の期日までに納付せず、督促してもなお納付しない者

（復学および復籍）

第21条 休学期間中にその事由が消滅した場合は、学長の許可を得て復学することができる。

- 2 第17条による退学者および前条の規定による除籍者については、教授会の議を経て学長が必要と認めた場合は、復学・復籍することができる。
- 3 前項により復学する場合は、教授会の議を経て学長が復学相当年次を決定する。

第5章 教育課程

（教育課程及び授業科目）

第22条 本学の教育課程は、別表(1)のとおりとする。

- 2 健康栄養学科の学生で栄養士の資格および管理栄養士国家試験の受験資格を取得しようとする者は、栄養士法並びに同法施行規則及び管理栄養士学校指定規則に則り、本学が開設する授業科目を履修し、単位を修得しなければならない。該当する授業科目及び単位数は別表(2)および(3)のとおりとする。
- 3 学校教育学科の学生で小学校教諭一種免許及び特別支援学校教諭一種免許、中学校教諭一種免許（英語）、高等学校教諭一種免許（英語）を取得しようとする者は、教育職員免許法および教育職員免許法

施行規則に則り、本学が開設する授業科目を履修し、単位を修得しなければならない。該当する授業科目および単位数は別表(4)及び(5)、(6)、(7)のとおりとする。

第23条 前条に定めるもののほか学芸員、社会教育主事養成課程、教員免許課程（学校教育学科を除く）、司書教諭及び介護職員初任者研修に関する科目を置く。

- 2 学芸員に関する授業科目の単位数等は別表(8)のとおりとする。
- 3 社会教育士に関する授業科目の単位数は別表(9)のとおりとする。
- 4 教員免許課程に関する授業科目等については別に定める。
- 5 司書教諭に関する授業科目の単位数等は別表(10)のとおりとする。
- 6 介護職員初任者研修に関する履修については別に定める。

（単位の計算方法）

第24条 各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の各号により計算するものとする。

- (1) 講義については15時間の授業をもって1単位とする。ただし、別に定める授業科目については30時間の授業をもって1単位とする。
- (2) 演習については30時間の授業をもって1単位とする。ただし、別に定める授業科目については15時間の授業をもって1単位とする。
- (3) 実験、実習及び実技については45時間の授業をもって1単位とする。ただし、別に定める授業科目については30時間の授業をもって1単位とする。

（単位の授与）

第25条 授業科目を履修し、その試験等に合格した者には、所定の単位を与える。

（成績評価）

第26条 成績評価は、S（秀）、A（優）、B（良）、C（可）、D（不可）をもって表し、S（秀）、A（優）、B（良）、C（可）を合格、D（不可）を不合格とする。

2 成績評価と100点法による素点との関係については、以下のとおりとする。

- (1) S（秀） 100点～90点
- (2) A（優） 89点～80点
- (3) B（良） 79点～70点
- (4) C（可） 69点～60点
- (5) D（不可） 59点～ 0点

3 第1項の成績評価による学修成果を総合的に判断する指標として、GPA（Grade Point Average）を用いることができる。

4 第1項の規定にかかわらず、Pは合格として所定の単位を与え、Fは不合格とすることができる。

5 第1項の規定にかかわらず、本学以外で修得した単位を、本学において修得したものとみなし、Nとして所定の単位を与えることができる。

（長期にわたる教育課程の履修）

第27条 本学において、学生が職業を有している等の事情により、修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し卒業すること（以下「長期履修学生」という。）を希望する旨を申し出たときは、当該学部において支障のない場合に限り、当該学部の教授会の議を経て、学長は、その計画的な履修を認めることができる。

2 前項に規定するもののほか、長期履修学生に関し必要な事項は、別に定める。

第6章 卒業等

(卒業の要件)

第28条 本学を卒業するためには、学生は4年以上在学し、別表(1)に従って124単位以上を修得しなければならない。

(卒業)

第29条 本学に4年以上在学し、本学則に定める授業科目及び単位数を修得した者については、教授会の議を経て、学長が卒業を認定する。

2 学長は、卒業を認定した者に対して、卒業証書を授与する。

(学士の称号)

第30条 前条により卒業した者には学士の称号が与えられる。

2 本学において授与する学士の学位に付記する専攻分野の名称は、次のとおりとする。

総合経営学部総合経営学科	総合経営
総合経営学部観光ホスピタリティ学科	総合経営
人間健康学部健康栄養学科	健康栄養学
人間健康学部スポーツ健康学科	スポーツ健康学
教育学部学校教育学科	教育学

(他の短期大学又は大学における授業科目の履修等)

第31条 本学は、教育上有益と認めるときは、学生が他の短期大学又は大学において履修した授業科目について修得した単位を、30単位を超えない範囲で本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 前項の規定は、学生が外国の短期大学又は大学で修得した単位にも適用する。この場合修得したものとみなすことのできる単位数は、前項及び第31条第2項の単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

3 学生の留学について必要な事項は別に定める。

(大学以外の教育施設等における学修)

第32条 本学は、教育上有益と認めるときは、学生が行う短期大学又は高等専門学校専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を、本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

2 前項により与えることができる単位数は、前条第1項により修得したものとみなした単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

(入学前の既修得単位の認定)

第33条 本学は、教育上有益と認めるときは、学生が入学する前に短期大学又は大学において履修した授業科目について修得した単位を、入学後の本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 学生が入学する前に行った前条第1項に規定する学修を、本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

3 前2項により修得したものとみなし、又は与えることのできる単位数は、転学等の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについては、合わせて30単位を超えないものとする。

第7章 受験料、入学金、授業料その他の費用

(受験料等の金額)

第34条 本学の受験料、入学金、授業料等の金額は別表(11)のとおりとする。

(授業料の納入期)

第35条 授業料は前期分と後期分とに分けてそれぞれ4月と9月に分納するものとする。

2 所定の期日までに授業料その他を納付することができないときは、保証人連署で願い出て納付猶予の許可を受けなければならない。

(退学及び停学の場合の授業料)

第36条 学期の途中で退学又は除籍された者の当該期分の授業料は徴収する。

2 停学期間中の授業料は徴収する。

(休学の場合の授業料)

第37条 休学の学期に対する授業料は徴収しない。ただし、在籍料を徴収する。

(復学の場合の授業料)

第38条 学期の中途において復学した者は、復学した月から当該期末までの授業料を、復学した月に納付しなければならない。

(学年の途中で卒業する場合の授業料)

第39条 学年の途中で卒業する見込みの者は、卒業する見込みの月までの授業料を納付するものとする。

(納付した授業料等)

第40条 納付した受験料、入学金及び授業料等は原則として返付しない。

2 授業料について必要な事項は別に定める。

第8章 教職員組織

(職員組織)

第41条 本学に学長、学部長、学科長、教授、准教授、講師、助手及び事務職員、労務職員を置く。

2 前項の他、副学長、助教及び専門員を置くことができる。

(学長)

第42条 学長は、学校教育法の定めるところにより、校務に関して最終決定を行う権限を有する。

第9章 教授会

(教授会)

第43条 本学の各学部に、重要な事項を審議するため教授会を置く。

2 教授会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり意見を述べるために審議する。

(1) 学生の入学、卒業及び課程の修了

(2) 学位の授与

(3) 前二項に掲げるもののほか、学長が教授会に意見を聴くものとして教育研究に関する重要な事項は、別に定める。

3 教授会は、前項に規定するもののほか、学長及び学部長がつかさどる教育研究に関する事項について審議し、また学長、学部長の求めに応じて意見を述べる。

4 前項のほか、全学的事項を審議・調整するため合同教授会を置く。

(教授会の構成)

第44条 教授会は学長、学部長、学科長、専任の教授・准教授・講師・助教を以って組織する。

2 副学長を置く場合は、前項の規定に副学長を加える。

3 本条の規定にかかわらず、教授会が必要と認めたときは、教授会に他の職員を加えることができる。

(その他)

第45条 本章に定めるもののほか、教授会に関し必要な事項は別に定める。

第10章 科目等履修生・聴講生・外国人留学生・帰国生徒入学生

(科目等履修生)

第46条 本学の授業科目の履修を希望する者があるときは、本学の教育に支障のない限りにおいて科目等履修生として教授会の議を経て学長が履修を許可することができる。

- 2 科目等履修生には、本学則第25条及び第26条の規定を準用して単位を与えることができる。
- 3 科目等履修生に関して必要な事項は別に定める。

(聴講生)

第47条 本学において特定の授業科目の聴講を希望する者があるときは、本学の教育、研究に支障のない限り、選考の上、教授会の議を経て学長が聴講生として聴講を許可することができる。

- 2 聴講生に関して必要な事項は別に定める。

(外国人留学生)

第48条 外国人で、大学において教育を受ける目的をもって入国し、本学に入学を志願する者があるときは、選考の上、教授会の議を経て学長が外国人留学生として入学を許可することができる。

- 2 外国人留学生について必要な事項は別に定める。

(帰国生徒入学生)

第49条 日本国籍を有する満18歳以上の者で、外国で学校教育を受けた者が本学に入学を志願する場合、選考の上、教授会の議を経て学長が帰国生徒入学生として入学を許可することができる。

- 2 帰国生徒入学生について必要な事項は別に定める。

第11章 公開講座（開放講座）

(公開講座)

第50条 本学は、本学学生および一般市民を対象に公開講座を実施することができる。

- 2 公開講座に関する細則は別にこれを定める。

第12章 賞 罰

(表 彰)

第51条 学生として表彰に値する行為があった者は、教授会の議を経て学長が表彰する。

(罰 則)

第52条 本学の規則に違反し、又は学生としての本分に反する行為をした者は、教授会の議を経て、学長が懲戒する。

- 2 前項の懲戒の種類は、退学、停学及び訓告とする。
- 3 前項の退学は次の各号の一に該当する学生に対して行う。
 - (1) 性行不良で改善の見込みがないと認められる者
 - (2) 学力劣等で成業の見込みがないと認められる者
 - (3) 正当な理由なくて出席常でない者
 - (4) 本学の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者

附 則

- 1 本学則は平成14年 4月 1日から施行する。
- 2 本学則は平成16年 4月 1日から施行する。
- 3 本学則は平成17年 4月 1日から施行する。
- 4 本学則は平成18年 4月 1日から施行する。

- 5 本学則は平成19年 4月 1日から施行する。
- 6 本学則は平成20年11月 1日から施行する。ただし、第36条の変更については平成21年4月1日から施行する。
- 7 本学則は平成21年 4月 1日から施行する。
- 8 本学則は平成23年 4月 1日から施行する。
- 9 本学則第23条、第23条及び第33条については、平成23年度入学生から適用する。ただし、第22条については、人間健康学部健康栄養学科の平成21年度入学生・平成22年度入学生にも適用する。
- 10 本学則は平成24年 4月 1日から施行する。
- 11 本学則第22条の別表（1）及び同2項の別表（2）、（3）、第23条2項の別表（6）については、平成24年度入学生から適用する。
- 12 本学則第22条および同2項については、平成25年度入学生から適用する。
- 13 本学則は平成25年 4月 1日から施行する。
- 14 本学則は平成26年 4月 1日から施行する。
- 15 本学則は平成27年 4月 1日から施行する。
- 16 本学則は平成28年 4月 1日から施行する。
- 17 本学則は平成29年 4月 1日から施行する。
- 18 本学則は平成30年 4月 1日から施行する。
- 19 本学則は2019年 4月 1日から施行する。
- 20 本学則第22条の別表（1）については、2019年度入学生から適用する。
- 21 本学則は2020年 4月 1日から施行する。但し、第22条の別表(1)及び第23条3項、第34条の別表（11）については、2020年度入学生から適用する。

別表(1)

別表(2)

別表(3)

別表(4)

別表(5)

別表(6)

別表(7)

別表(8)(9)(10)

第42条関係

別表(1)

総合経営学部 総合経営学科

教養科目

科目区分		科目名	単位数	開講年次	必選	備考
導入科目	大学で学ぶための基礎	松本大学と地域	2	1	必修	
		地域史(地誌)	2	1	選択	
		知の技法	2	1	選択	
		基礎ゼミナールⅠ	1	1	必修	
		基礎ゼミナールⅡ	1	1	必修	
コモンベシックス	外国語	総合英語Ⅰ	1	1	必修	
		総合英語Ⅱ	1	1	選択	
		総合英語Ⅲ	1	2	選択	
		総合英語Ⅳ	1	2	選択	
		英会話Ⅰ	1	1	選択	
		英会話Ⅱ	1	1	選択	
		英会話Ⅲ	1	2	選択	
		英会話Ⅳ	1	2	選択	
		TOEICⅠ	1	1	選択	
		TOEICⅡ	1	1	選択	
		TOEICⅢ	1	2	選択	
		TOEICⅣ	1	2	選択	
		中国語Ⅰ(基礎)	1	2	選択	
		中国語Ⅱ(展開)	1	2	選択	
	ハングルⅠ(基礎)	1	2	選択		
	ハングルⅡ(展開)	1	2	選択		
	情報リテラシー	情報処理Ⅰ(WORD)	1	1	必修	
		情報処理Ⅱ(EXCEL初級)	1	1	必修	
		情報処理Ⅲ(EXCEL上級)	1	2	選択	
		情報処理Ⅳ(パワーポイント)	1	2	選択	
情報処理Ⅴ(ホームページ)		1	1	選択		
留学生支援	日本語入門(異文化理解基礎)	1	1	選択		
	日本語応用(異文化理解応用)	1	1	選択		
	日本事情Ⅰ(異文化理解基礎)	2	2	選択		
	日本事情Ⅱ(異文化理解応用)	2	2	選択		
ヒューマンベシックス	人間といのちを考える	こころと体の健康	2	1	選択	
		哲学	2	2	選択	
		生命倫理	2	2	選択	
		文学	1	3	選択	
		健康管理論	2	1	選択	
		生涯スポーツⅠ(集团的スポーツ)	1	1	選択	
		生涯スポーツⅡ(個人的スポーツ)	1	1	選択	
		生活習慣病と予防	2	2	選択	
	現代の日本社会を理解する	日本国憲法	2	1	選択	
		地域課題研究	2	1	選択	
		経済入門	2	1	必修	
		地理学	2	1	選択	
		芸術文化	2	1	選択	
		社会学	2	1	選択	
		新聞に見る社会の動き	2	3	選択	
	地方自治論	2	2	選択		
	異文化理解と国際交流	日本文化	2	1	選択	
		異文化理解	2	1	選択	
		比較文化	2	1	選択	
		文化人類学	2	3	選択	
		音楽の歴史と鑑賞	2	3	選択	
		海外研修Ⅰ	2	1・2・3・4	選択	
		海外研修Ⅱ	2	1・2・3・4	選択	
		海外事情Ⅰ	2	1・2・3・4	選択	
	海外事情Ⅱ	2	1・2・3・4	選択		
	環境・自然を学ぶ	自然と産業	2	1	選択	
		環境問題	2	1	必修	
		基礎統計学	2	2	選択	
		地域環境と生態	2	3	選択	
		ごみ処理と循環型社会	2	2	選択	
環境社会学		2	3	選択		
キャリア形成	キャリア教育	キャリア入門	2	1	選択	
		キャリアデザインⅠ	1	2	必修	
		キャリアデザインⅡ	1	3	必修	
		インターンシップ	2	3	選択	
		ワークインフォメーション	2	4	選択	

総合経営学部 総合経営学科

専門科目

科目区分	科目名	単位数	開講年次	必選	備考	
専門基礎科目	総合経営の基礎	経営学総論	2	1	必修	
		観光概論	2	1	選択	
		地域づくり概論	2	1	必修	
		簿記Ⅰ(基礎)	1	1	必修	
		マーケティング基礎	2	2	必修	
		情報社会論	2	2	必修	
		簿記Ⅱ(展開)	1	2	必修	
		中小企業論	2	2	選択	
		ミクロ経済学	2	2	選択	
マクロ経済学	2	2	選択			
社会活動	2	2	選択			
専門応用・発展科目	(マネジメント) 経営の理論	経営管理論	2	1	選択	
		リーダーシップ論	2	2	選択	
		人的資源管理Ⅰ(基礎)	2	2	必修	
		人的資源管理Ⅱ(展開)	2	3・4	選択	
		日本経済史	2	3・4	選択	
		企業取引法	2	3・4	選択	
		労働と法	2	3・4	選択	
		生産管理論	2	3・4	選択	
		会社法	2	3・4	選択	
	労働安全衛生法	2	3・4	選択		
	(会計・ファイナンス) 経営の理論	所得税法	2	2	選択	
		金融論	2	2	選択	
		法人税法	2	2	選択	
		簿記原理	2	2	選択	
		上級簿記論	2	2	選択	
		会計学	2	3・4	選択	
		管理会計	2	3・4	選択	
		ファイナンス	2	3・4	選択	
	(ビジネス戦略) 経営の理論	流通総論	2	1	選択	
		マーケティング戦略	2	2	選択	
		経営組織論	2	2	選択	
		経営戦略論	2	3	必修	
		サービスマーケティング	2	3・4	選択	
		ITビジネス論	2	3・4	選択	
		オペレーションズリサーチ	2	3・4	選択	
		社会調査論	2	3・4	選択	
		起業論	2	3・4	選択	
		ビジネスシミュレーション	2	3・4	選択	
		宅建特講	2	2	選択	
	職業指導論	2	2	選択		
	ICT	情報倫理	2	1	選択	
		コンピュータ概論	2	2	選択	
		情報とビジネス	2	2	選択	
		マルチメディア論	2	2	選択	
		プログラミング論	2	2	選択	
		CGの基礎	1	2	選択	
マルチメディア活用論		2	2	選択		
情報活用論		2	2	選択		
情報システム論		2	2	選択		
情報ネットワーク論		2	3・4	選択		
地理情報活用論		2	3・4	選択		
CAD演習		1	3・4	選択		
データベース論		2	3・4	選択		
応用プログラミング論		2	3・4	選択		
データ分析	2	3・4	選択			
ITパスポート特講	2	2	選択			
上級情報処理	2	3	選択			
ビジネス心理	カウンセリング理論	2	1	選択		
	臨床心理学	2	1	選択		
	パーソナリティ理論	2	2	選択		
	産業・組織心理学	2	2	選択		
	心理療法	2	2	選択		
	心理学	2	2	選択		
	カウンセリング演習	2	3	選択		
心理アセスメント	1	4	選択			

科目区分	科目名	単位数	開講年次	必選	備考	
専門 応用・ 発展 科目	生活 マネ ジメン ト	法学	2	1	必修	
		契約法	2	2	必修	
		行政法	2	2	選択	
		家族法	2	2	選択	
		生活環境論	2	2	選択	
		消費者行動論	2	3・4	選択	
		生活福祉論	2	3・4	選択	
		フードマネジメント	2	3・4	選択	
		ファイナンシャルプランニングⅠ	2	1	選択	
	ファイナンシャルプランニングⅡ	2	1	選択		
	地域 産業	コミュニティビジネス	2	2	選択	
		地域産業論	2	2	必修	
		観光産業論	2	2	選択	
		非営利組織論	2	3・4	選択	
		国際経営論	2	3・4	選択	
		文化産業論	2	3・4	選択	
		自然地理	2	3・4	選択	
		地域経済論	2	3・4	選択	
	アジア経済論	2	3・4	選択		
	研 究 門	専門研究Ⅰ	1	3	必修	
		専門研究Ⅱ	1	3	必修	
		卒業研究Ⅰ	2	4	必修	
		卒業研究Ⅱ	2	4	必修	
	対 策 講 員 座	公務員試験対策Ⅰ	2	3	選択	
公務員試験対策Ⅱ		2	3	選択		
公務員試験特講Ⅰ		2	3・4	選択		
公務員試験特講Ⅱ		2	4	選択		

※このカリキュラム表は2020年度入学生より適用する。

卒業要件

1. 『教養科目』から30単位（必修13単位含む）以上修得すること。
2. 『専門科目』から84単位（必修24単位含む）以上修得すること。
3. 必修科目をすべて修得すること。
4. 上記1～3の条件をすべて満たし、合計124単位以上修得すること。

総合経営学部 観光ホスピタリティ学科
教養科目

科目区分		科目名	単位数	開講年次	必選	備考
導入科目	大学で学ぶための基礎	松本大学と地域	2	1	必修	
		地域史(地誌)	2	1	選択	
		知の技法	2	1	選択	
		基礎ゼミナールⅠ	1	1	必修	
		基礎ゼミナールⅡ	1	1	必修	
コモンベシックス	外国語	総合英語Ⅰ	1	1	必修	
		総合英語Ⅱ	1	1	選択	
		総合英語Ⅲ	1	2	選択	
		総合英語Ⅳ	1	2	選択	
		英会話Ⅰ	1	1	選択	
		英会話Ⅱ	1	1	選択	
		英会話Ⅲ	1	2	選択	
		英会話Ⅳ	1	2	選択	
		TOEICⅠ	1	1	選択	
		TOEICⅡ	1	1	選択	
		TOEICⅢ	1	2	選択	
		TOEICⅣ	1	2	選択	
		中国語Ⅰ(基礎)	1	2	選択	
		中国語Ⅱ(展開)	1	2	選択	
	ハングルⅠ(基礎)	1	2	選択		
	ハングルⅡ(展開)	1	2	選択		
	情報リテラシー	情報処理Ⅰ(WORD)	1	1	必修	
		情報処理Ⅱ(EXCEL初級)	1	1	必修	
		情報処理Ⅲ(EXCEL上級)	1	2	選択	
		情報処理Ⅳ(パワーポイント)	1	2	選択	
情報処理Ⅴ(ホームページ)		1	1	選択		
留学生支援	日本語入門(異文化理解基礎)	1	1	選択		
	日本語応用(異文化理解応用)	1	1	選択		
	日本事情Ⅰ(異文化理解基礎)	2	2	選択		
	日本事情Ⅱ(異文化理解応用)	2	2	選択		
ヒューマンベシックス	人間といのちを考える	こころと体の健康	2	1	選択	
		哲学	2	2	選択	
		生命倫理	2	2	選択	
		文学	1	3	選択	
		健康管理論	2	1	選択	
		生涯スポーツⅠ(集团的スポーツ)	1	1	選択	
		生涯スポーツⅡ(個人的スポーツ)	1	1	選択	
		生活習慣病と予防	2	2	選択	
	現代の日本社会を理解する	日本国憲法	2	1	選択	
		地域課題研究	2	1	選択	
		経済入門	2	1	必修	
		地理学	2	1	選択	
		芸術文化	2	1	選択	
		社会学	2	1	選択	
		新聞に見る社会の動き	2	3	選択	
	地方自治論	2	2	選択		
	異文化理解と国際交流	日本文化	2	1	選択	
		異文化理解	2	1	選択	
		比較文化	2	1	選択	
		文化人類学	2	3	選択	
		音楽の歴史と鑑賞	2	3	選択	
		海外研修Ⅰ	2	1・2・3・4	選択	
		海外研修Ⅱ	2	1・2・3・4	選択	
		海外事情Ⅰ	2	1・2・3・4	選択	
	海外事情Ⅱ	2	1・2・3・4	選択		
	環境・自然を学ぶ	自然と産業	2	1	選択	
		環境問題	2	1	必修	
		基礎統計学	2	2	選択	
		地域環境と生態	2	3	選択	
		ごみ処理と循環型社会	2	2	選択	
環境社会学		2	3	選択		
キャリア形成	キャリア教育	キャリア入門	2	1	選択	
		キャリアデザインⅠ	1	2	必修	
		キャリアデザインⅡ	1	3	必修	
		インターンシップ	2	3	選択	
		ワークインフォメーション	2	4	選択	

総合経営学部 観光ホスピタリティ学科

専門科目

科目区分	科目名	単位数	開講年次	必選	備考	
専門基礎科目	経営学総論	2	1	必修		
	法学	2	1	必修		
	地域づくり概論	2	1	必修		
	簿記Ⅰ(基礎)	1	1	必修		
	経営管理論	2	1	選択		
	マーケティング基礎	2	2	必修		
	簿記Ⅱ(展開)	1	2	必修		
	情報社会論	2	2	必修		
	経済学(含国際経済学)	2	2	選択		
	行政学	2	2	選択		
	リーダーシップ論	2	2	選択		
	中小企業論	2	2	選択		
	財政学	2	2	選択		
	人的資源管理	2	2	選択		
	経営組織論	2	2	選択		
ホームページ実践	1	2	選択			
社会活動	2	2	選択			
倫理学	2	3・4	選択			
専門応用・発展科目	(観光経営)	観光概論	2	1	必修	
		観光政策論	2	2	選択	
		観光戦略	2	2	選択	
		旅行業法	2	2	選択	
		観光約款	2	2	選択	
		契約法	2	2	選択	
		観光産業論	2	2	必修	
		国際観光	2	2	選択	
		宿泊経営	2	3・4	選択	
		社会調査論	2	3・4	選択	
		サービスマーケティング	2	3・4	選択	
		ツアープランニング	2	3・4	選択	
		観光資源論	2	1	選択	
		景観と観光	2	2	選択	
	(観光振興)	エコツーリズム	2	1	必修	
		ホスピタリティ概論	2	2	選択	
		心理学	2	2	選択	
		自然体験活動論	2	3・4	選択	
		グリーンツーリズム	2	3・4	選択	
		ユニバーサルデザイン論	2	3・4	選択	
		観光地ブランド	2	3・4	選択	
		ヘルスツーリズム	2	3・4	選択	
		バリアフリー観光	2	3・4	選択	
		日本史	2	1	選択	
	(観光文化)	観光地理Ⅰ(日本)	2	2	選択	
		外国史	2	2	選択	
		観光社会学	2	2	選択	
		観光地理Ⅱ(世界)	2	3・4	選択	
		自然地理	2	3・4	選択	
		人文地理	2	3・4	選択	
	異文化交流演習	2	3・4	選択		
	(暮らしの再生)	地域経営論	2	2	必修	
		コミュニティビジネス	2	2	選択	
		共生社会論	2	2	選択	
		家族法	2	2	選択	
		生活環境論	2	2	選択	
		非営利組織論	2	3・4	選択	
		文化産業論	2	3・4	選択	
		都市計画論	2	3・4	選択	
		地域文化論	2	3・4	選択	
		(地域経済の発展)	地域振興論Ⅰ	2	2	選択
	地域資源論		2	3・4	選択	
地域の行財政	2		2	選択		
行政法	2		2	選択		
地域振興論Ⅱ	2		2	選択		
地域マーケティング	2		2	選択		
地域政策論	2		2	選択		
日本経済史	2		3・4	選択		
地域戦略論	2		3・4	選択		
企業取引法	2		3・4	選択		
労働と法	2		3・4	選択		
地域経済論	2		3・4	選択		
会社法	2	3・4	選択			

科目区分	科目名	単位数	開講年次	必選	備考	
専門応用・発展科目	医学概論Ⅰ（医学入門）	2	1	選択		
	医学概論Ⅱ（公衆衛生学）	2	1	選択		
	社会福祉概論Ⅰ	2	1	必修		
	社会福祉概論Ⅱ	2	1	選択		
	福祉心理支援	2	2	選択		
	児童福祉	2	2	選択		
	障がい福祉	2	2	選択		
	高齢者福祉論Ⅰ	2	2	選択		
	高齢者福祉論Ⅱ	2	2	選択		
	地域福祉Ⅰ	2	2	選択		
	地域福祉Ⅱ	2	2	選択		
	司法福祉Ⅰ	2	3・4	選択		
	司法福祉Ⅱ	1	3・4	選択		
	社会保障論Ⅰ	2	3・4	選択		
	社会保障論Ⅱ	2	3・4	選択		
	福祉社会デザイン（福祉づくり）	ソーシャルワークⅠ	2	2	選択	
		ソーシャルワークⅡ	2	2	選択	
		社会福祉援助技術Ⅰ	2	2	選択	
		社会福祉援助技術Ⅱ	2	2	選択	
		社会福祉援助技術Ⅲ	2	3・4	選択	
		社会福祉援助技術Ⅳ	2	3・4	選択	
		社会福祉調査	2	3・4	選択	
		福祉就労支援	1	3・4	選択	
		公的扶助論	2	3・4	選択	
		社会福祉経営	2	3・4	選択	
		社会福祉行政	2	3・4	選択	
		社会福祉演習Ⅰ	4	3	選択	
		社会福祉演習Ⅱ	4	4	選択	
	地域防災（防災士）	防災総論	2	1	選択	
		災害メカニズム論	2	2	選択	
		環境保全と防災	2	2	選択	
		防災コミュニティ論	2	2	選択	
		防災活動論	2	3・4	選択	
	社会教育士	生涯学習概論Ⅰ	2	2	選択	
		生涯学習概論Ⅱ	2	2	選択	
		社会教育経営論Ⅰ	2	2	選択	
		社会教育経営論Ⅱ	2	2	選択	
		生涯学習支援論Ⅰ	2	3・4	選択	
		生涯学習支援論Ⅱ	2	3・4	選択	
	学芸員	博物館概論	2	2	選択	
		博物館資料保存論	2	3	選択	
		博物館展示論	2	3	選択	
		博物館教育論	2	3	選択	
博物館資料論		2	3	選択		
博物館情報・メディア論		2	3	選択		
博物館経営論		2	4	選択		
演習	専門研究Ⅰ	1	3	必修		
	専門研究Ⅱ	1	3	必修		
	卒業研究Ⅰ	2	4	必修		
	卒業研究Ⅱ	2	4	必修		

資格取得予定者のみ履修できる科目（卒業単位に含まれない）

資格科目	福祉士	社会福祉実習指導Ⅰ	3	3	選択	
		社会福祉実習指導Ⅱ	3	4	選択	
		社会福祉実習Ⅰ	6	3	選択	
		社会福祉実習Ⅱ	6	4	選択	
	社会教育士	社会教育実習	4	3	選択	
特別講義	学芸員	博物館実習	3	4	選択	
		公務員特講Ⅰ	2	3	選択	
		公務員特講Ⅱ	2	3	選択	
		社会教養	2	3	選択	
		国内旅行業務実務	2	2・3	選択	
		総合旅行業務実務	2	3・4	選択	
		社会福祉士特講	2	4	選択	

※このカリキュラム表は2020年度入学生より適用する。

卒業要件

- 『教養科目』から30単位（必修13単位含む）以上修得すること。
- 『専門科目』から84単位（必修24単位含む）以上修得すること。
- 必修科目をすべて修得すること。
- 上記1～3の条件をすべて満たし、合計124単位以上修得すること。

人間健康学部 健康栄養学科
教養科目

科目区分	科目名	単位数	開講年次	必選	備考	
導入科目	基礎科目群	松本大学と地域	2	1	必修	
		知の技法	2	1	選択	
		基礎ゼミナールⅠ	1	1	必修	
		基礎ゼミナールⅡ	1	1	必修	
コモンベイシックス	外国語科目群	総合英語Ⅰ	1	1	必修	
		総合英語Ⅱ	1	1	選択	
		総合英語Ⅲ	1	2	選択	
		総合英語Ⅳ	1	2	選択	
		英会話Ⅰ	1	1	選択	
		英会話Ⅱ	1	1	選択	
		英会話Ⅲ	1	2	選択	
		英会話Ⅳ	1	2	選択	
		TOEICⅠ	1	1	選択	
		TOEICⅡ	1	1	選択	
		TOEICⅢ	1	2	選択	
		TOEICⅣ	1	2	選択	
		中国語Ⅰ(基礎)	1	2	選択	
		中国語Ⅱ(展開)	1	2	選択	
コモンベイシックス	情報リテラシー科目群	ICTと情報倫理	2	1	必修	
		情報処理Ⅰ(WORD)	1	1	必修	
		情報処理Ⅱ(EXCEL初級)	1	1	必修	
		情報処理Ⅲ(EXCEL上級)	1	2	選択	
		情報処理Ⅳ(パワーポイント)	1	2	選択	
		情報処理Ⅴ(ホームページ)	1	3	選択	
	援学科目群	日本語入門(異文化理解基礎)	1	1	選択	
		日本語応用(異文化理解応用)	1	1	選択	
		日本事情Ⅰ(異文化理解基礎)	2	2	選択	
		日本事情Ⅱ(異文化理解応用)	2	2	選択	
ヒューマンベイシックス	人間といのちを考える科目群	子どもの育ちと教育	2	1	選択	
		心理学概論	2	1	選択	
		健康管理論	2	1	選択	
		生涯スポーツⅠ(集団的スポーツ)	1	1	選択	
		生涯スポーツⅡ(個人的スポーツ)	1	1	選択	
		こころと体の健康	2	1	選択	
		哲学	2	2	選択	
		生活習慣病と予防	2	2	選択	
		生命倫理	2	2	選択	
		スポーツとノーマライゼーション	1	2	選択	
	対人関係の心理学	2	3	選択		
	現代の日本社会を理解する科目群	日本国憲法	2	1	選択	
		経済入門	2	1	選択	
		新聞に見る社会の動き	2	2	選択	
		食の社会学	2	2	選択	
		日本地理	2	2	選択	
		国際経済	2	2	選択	
		現代社会論	2	1	選択	
		政治学	2	1	選択	
		死と死につつまることの社会学	2	2	選択	
		近代日本の歴史	2	3	選択	
	地域を考える科目群	地域の歴史	2	1	選択	
		地域と文学	2	1	選択	
		地域の伝統行事	2	2	選択	
		地域社会と学校教育	2	3	選択	
		地域経済史	2	3	選択	
		地域課題研究	2	1	選択	
	異文化理解と国際交流科目群	日本文化	2	1	選択	
		異文化理解	2	1	選択	
		比較文化	2	1	選択	
		文化人類学	2	3	選択	
		音楽の歴史と鑑賞	2	3	選択	
		海外研修Ⅰ	2	1・2・3・4	選択	
		海外研修Ⅱ	2	1・2・3・4	選択	
海外事情Ⅰ		2	1・2・3・4	選択		
海外事情Ⅱ	2	1・2・3・4	選択			
環境・自然を科学する科目群	数学の基礎	2	1	選択		
	生物学の基礎	2	1	選択		
	力学の基礎	2	1	選択		
	基礎統計学	2	2	必修		
	地球環境と人間生活	2	2	選択		
	地域環境と生態	2	3	選択		
	ごみ処理と循環型社会	2	2	選択		
	環境社会学	2	3	選択		
	バイオメディカル文章理解	2	3	選択		
キャリア形成	キャリア科目群	キャリア入門	2	1	選択	
		キャリアデザインⅠ	1	2	必修	
		キャリアデザインⅡ	1	3	必修	
		インターンシップ	2	3	選択	
		行政キャリア論Ⅰ	2	3	選択	
		行政キャリア論Ⅱ	2	3	選択	
		ワークインフォメーション	2	4	選択	

人間健康学部 健康栄養学科

専門科目

科目区分	科目名	単位数	開講年次	必選	備考	
専門基礎科目	社会環境と健康	医療社会学	2	1	選択	
		栄養情報処理	2	1	選択	
		公衆衛生学Ⅰ	2	2	必修	
		公衆衛生学Ⅱ	2	2	必修	
		社会福祉概論	2	2	必修	
		労働と法	2	3・4	選択	
		衛生管理学	2	3・4	選択	
		労働安全衛生法	2	3・4	選択	
	機能・人体の構造と成り立ち	解剖学Ⅰ	2	1	必修	
		解剖学Ⅱ(含実習)	3	1	必修	
		医学概論	2	1	必修	
		生理学	2	2	必修	
		生化学	2	2	必修	
		微生物学	2	2	必修	
		病理学	2	2	必修	
		生理学実習	1	2	必修	
		生化学実験	1	2	必修	
		分子生物学	2	2	選択	
		臨床医学各論Ⅰ	2	3	選択	
		臨床医学各論Ⅱ	2	3	選択	
	食べ物と健康	食生活論	2	1	選択	
		食品学実験	1	1	必修	
		調理学実習Ⅰ	1	1	必修	含加工実験
		調理学実習Ⅱ	1	1	必修	
		食品学総論	2	1	必修	
		食品学各論	2	1	必修	含加工学
		食品衛生学	2	1	必修	
		食品化学実験	1	1	必修	
		調理学	2	1	必修	
		食品衛生学実験	1	2	必修	
		応用調理学実習	1	2	必修	
		食品機能論	2	3	必修	
		食品微生物学	2	3	選択	含実験
食品の官能評価・鑑別法		1	3	選択		
食品安全機能論(含演習)		2	2	選択		
食品加工学	2	3	選択	統計処理を含む		
専門応用・発展科目	栄養基礎	基礎化学Ⅰ(無機)	2	1	選択	
		基礎栄養学	2	1	必修	
		基礎化学Ⅱ(有機)	2	1	選択	
		基礎栄養学実験	1	2	必修	
		分子栄養学	2	3・4	選択	
	応用栄養	応用栄養学Ⅰ	2	2	必修	理論と実践
		応用栄養学Ⅱ	2	2	必修	理論と実践
		食事摂取基準論	2	2	必修	
		応用栄養学実習	1	3	必修	
		スポーツ栄養学	2	3・4	選択	
		スポーツ栄養マネジメント演習	1	3・4	選択	
	栄養教育論	基礎カウンセリング演習	2	2	必修	
		栄養教育論Ⅰ	2	2	必修	
		栄養教育論Ⅱ	2	3	必修	
		栄養教育実習	1	3	必修	
		栄養教諭論	1	3	選択	
		学校栄養教育論	1	3	選択	
		食教育指導法	2	3	選択	
	臨床栄養学	臨床栄養学総論Ⅰ	2	3	必修	
		臨床栄養学各論Ⅰ	2	3	選択	
		臨床栄養学実習Ⅰ	1	3	必修	
		臨床栄養学総論Ⅱ	2	3	選択	
		臨床栄養学各論Ⅱ	2	3	選択	
		臨床栄養学実習Ⅱ	1	3	選択	
	公衆栄養学	公衆栄養学Ⅰ	2	3	必修	
		公衆栄養学Ⅱ	2	3	選択	
		公衆栄養学実習	1	3	選択	
	経営管理(給食)	給食計画論	1	2	必修	
		給食実務論	1	2	必修	
		給食管理実習	1	2	必修	
給食経営管理論		2	2	必修		
給食経営管理実習		1	3	必修		

科目区分	科目名	単位数	開講年次	必修	備考	
専門応用・発展科目	実 臨 習 地	臨地実習Ⅰ（給食の運営）	1	3	必修	
		臨地実習Ⅱ（給食経営管理論・臨床栄養学）	2	4	選択	
		臨地実習Ⅲ（公衆栄養学）	1	4	選択	
		臨地実習Ⅳ（臨床栄養学）	1	4	選択	
	総 合 演 習	総合栄養学演習Ⅰ	1	3	選択	
		総合栄養学演習Ⅱ	1	3	選択	含臨地実習事前事後指導
		総合栄養学演習Ⅲ	1	4	選択	含臨地実習事前事後指導
		総合栄養学演習Ⅳ	1	4	選択	
	演 習	健康栄養演習Ⅰ	1	3	必修	
		健康栄養演習Ⅱ	1	3	必修	
卒業研究Ⅰ		2	4	必修		
卒業研究Ⅱ		2	4	必修		
関 連 科 目	リ フ ィ ー ド ス ペ シ ア リ ス ト 論 タ イ ム コ ー ス ・ フ ィ ー ド コ ー デ ィ ネ ー ト 論	食品流通論	2	2	選択	
		フードスペシャリスト論	2	2	選択	
		フードマネジメント論	2	3・4	選択	含マーケティング論
		フードコーディネーター論Ⅰ	2	3・4	選択	
		フードコーディネーター論Ⅱ	2	4	選択	
	健 康 食 品 管 理 士 ・ HCCP 管 理 士	栄養薬理学	2	3	選択	
		健康食品関連法規	1	3	選択	
		HCCPシステム論	2	3	選択	
	レ ク リ エ ー シ ョ ン 実 践 指 導 者 ・ タ イ ム コ ー ス ・ フ ィ ー ド コ ー デ ィ ネ ー ト 論	スポーツ外傷・障害学	2	3・4	選択	
		トレーニング科学の理論と実際	2	3・4	選択	
		健康づくりと運動	2	3・4	選択	
		レクリエーション論	2	3・4	選択	
		スポーツ実技Ⅲ（水中運動）	1	3・4	選択	
		スポーツ心理学	2	3・4	選択	
		安全・救急法（含実習）	2	3・4	選択	
		体力測定と評価	2	3・4	選択	
		スポーツ実技Ⅱ（エアロビックダンス）	1	3・4	選択	
		健康運動指導実習Ⅰ	1	3・4	選択	
		レクリエーション実技Ⅰ（ゲーム）	1	3・4	選択	
		レクリエーション実技Ⅱ（芸術・文化）	1	3・4	選択	

※このカリキュラム表は2020年度入学生より適用する。

卒業要件

- 『教養科目』から32単位（必修13単位含む）以上修得すること。
- 『専門科目』から86単位（必修74単位含む）以上修得すること。
- 必修科目をすべて修得すること。
- 上記1～4の条件をすべて満たし、合計124単位以上修得すること。

人間健康学部 スポーツ健康学科
教養科目

科目区分	科目名	単位数	開講年次	必選	備考	
導入科目	基礎科目群	松本大学と地域	2	1	必修	
		知の技法	2	1	選択	
		基礎ゼミナールⅠ	1	1	必修	
		基礎ゼミナールⅡ	1	1	必修	
共通科目群	外国語科目群	総合英語Ⅰ	1	1	必修	
		総合英語Ⅱ	1	1	選択	
		総合英語Ⅲ	1	2	選択	
		総合英語Ⅳ	1	2	選択	
		英会話Ⅰ	1	1	選択	
		英会話Ⅱ	1	1	選択	
		英会話Ⅲ	1	2	選択	
		英会話Ⅳ	1	2	選択	
		TOEICⅠ	1	1	選択	
		TOEICⅡ	1	1	選択	
		TOEICⅢ	1	2	選択	
		TOEICⅣ	1	2	選択	
		中国語Ⅰ(基礎)	1	2	選択	
		中国語Ⅱ(展開)	1	2	選択	
共通科目群	情報リテラシー科目群	ICTと情報倫理	2	1	必修	
		情報処理Ⅰ(WORD)	1	1	必修	
		情報処理Ⅱ(EXCEL初級)	1	1	必修	
		情報処理Ⅲ(EXCEL上級)	1	2	選択	
		情報処理Ⅳ(パワーポイント)	1	2	選択	
		情報処理Ⅴ(ホームページ)	1	3	選択	
	援学科目群	日本語入門(異文化理解基礎)	1	1	選択	
		日本語応用(異文化理解応用)	1	1	選択	
		日本事情Ⅰ(異文化理解基礎)	2	2	選択	
		日本事情Ⅱ(異文化理解応用)	2	2	選択	
ヒューマンベシックス	人間といのちを考える科目群	子どもの育ちと教育	2	1	選択	
		心理学概論	2	1	選択	
		健康管理論	2	1	選択	
		生涯スポーツⅠ(集団的スポーツ)	1	1	選択	
		生涯スポーツⅡ(個人的スポーツ)	1	1	選択	
		ところと体の健康	2	1	選択	
		哲学	2	2	選択	
		生活習慣病と予防	2	2	選択	
		生命倫理	2	2	選択	
		スポーツとノーマライゼーション	1	2	選択	
	対人関係の心理学	2	3	選択		
	現代の日本社会を理解する科目群	日本国憲法	2	1	選択	
		経済入門	2	1	選択	
		新聞に見る社会の動き	2	2	選択	
		食の社会学	2	2	選択	
		日本地理	2	2	選択	
		国際経済	2	2	選択	
		現代社会論	2	1	選択	
		政治学	2	1	選択	
		死と死につつまることの社会学	2	2	選択	
		近代日本の歴史	2	3	選択	
	地域を考える科目群	地域の歴史	2	1	選択	
		地域と文学	2	1	選択	
		地域の伝統行事	2	2	選択	
		地域社会と学校教育	2	3	選択	
		地域経済史	2	3	選択	
		地域課題研究	2	1	選択	
	異文化理解と国際交流科目群	日本文化	2	1	選択	
		異文化理解	2	1	選択	
		比較文化	2	1	選択	
		文化人類学	2	3	選択	
		音楽の歴史と鑑賞	2	3	選択	
		海外研修Ⅰ	2	1・2・3・4	選択	
		海外研修Ⅱ	2	1・2・3・4	選択	
		海外事情Ⅰ	2	1・2・3・4	選択	
	海外事情Ⅱ	2	1・2・3・4	選択		
	環境・自然を科学する科目群	数学の基礎	2	1	選択	
		生物学の基礎	2	1	選択	
		化学の基礎	2	1	選択	
		力学の基礎	2	1	選択	
基礎統計学		2	2	必修		
地球環境と人間生活		2	2	選択		
地域環境と生態		2	3	選択		
ごみ処理と循環型社会		2	2	選択		
環境社会学		2	3	選択		
バイオメディカル文章理解		2	3	選択		
キャリア形成	キャリア科目群	キャリア入門	2	1	選択	
		キャリアデザインⅠ	1	2	必修	
		キャリアデザインⅡ	1	3	必修	
		インターンシップ	2	3	選択	
		行政キャリア論Ⅰ	2	3	選択	
		行政キャリア論Ⅱ	2	3	選択	
		ワークインフォメーション	2	4	選択	

人間健康学部 スポーツ健康学科
専門科目

科目区分	科目名	単位数	開講年次	必選	備考	
専門基礎科目	運動の基礎	体育原理	2	1	必修	
		スポーツ心理学	2	1	必修	
		運動学	2	2	必修	
	衛生・保健	医学概論	2	1	選択	
		安全・救急法(含実習)	2	1	必修	
		養護概説	2	1	選択	
		発育発達論	2	2	必修	
		衛生・公衆衛生学概論	2	2	選択	
		薬理学	2	2	選択	
		養護教諭と看護	2	2	選択	
		衛生管理学	2	2	選択	
		医療社会学	2	2	選択	
		精神保健論	2	2	選択	
		学校の看護	2	2	選択	
		健康情報処理	2	3	選択	
		学校保健学(含小児保健)	2	3・4	選択	
		労働と法	2	3・4	選択	
労働安全衛生法	2	3・4	選択			
働く人の健康	2	1	選択			
専門応用・発展科目	スポーツ医学	生理学	2	1	必修	
		機能解剖学	2	1	必修	
		スポーツ外傷・障害学	2	2	選択	
		運動適応論	2	2	選択	
		運動生理学	2	2	選択	
		スポーツ医学	2	3・4	選択	
		リハビリテーション概論	2	3・4	選択	
		運動と遺伝子	2	3・4	選択	
	トレーニング科学	メディカルチェックの理論と実習	2	3・4	選択	
		栄養学概論	2	1	選択	
		トレーニング科学の理論と実際	2	2	選択	
		運動と物理学	2	2	選択	
		運動と栄養	2	2	必修	運動指導者のための栄養学
		分子生物学	2	2	選択	
		体力測定と評価	2	2	選択	
		スポーツカウンセリング	2	2	選択	
		バイオメカニクス	2	2	選択	
スポーツコーチング論		2	3・4	選択		
健康づくり	分子栄養学	2	3・4	選択		
	運動処方論	2	3・4	選択		
	トレーナー実習	1	3・4	選択		
	健康づくりと運動	2	1	必修		
	健康運動指導実習Ⅰ	1	1	選択		
	スポーツ実技Ⅱ(エアロビックダンス)	1	1	選択		
	看護学概論(セルフヘルスケア)	2	1	選択		
	スポーツ実技Ⅲ(水中運動)	1	2	選択		
	健康運動指導実習Ⅱ	1	2	選択		
	スポーツ実技Ⅳ(フィットネス)	1	2	選択		
スポーツの振興	健康相談活動	2	3	選択		
	健康運動指導現場実習Ⅰ	1	3	選択	補助実習	
	健康運動指導現場実習Ⅱ	1	4	選択	指導実習	
	介護職員初任者研修	6	1・2・3・4	選択		
	看護実習Ⅰ(臨床実習)	1	3	選択		
	看護実習Ⅱ(特別支援学校実習)	1	3	選択		
	現代スポーツ論	2	1	必修		
	近代スポーツ史	2	1	必修		
	スポーツと法	2	2	必修		
	スポーツマネジメント論	2	2	選択		
スポーツメディア論	2	2	選択	隔年開講		
地域社会とスポーツ	2	2	選択			
プロ・スポーツ論	2	2	選択	隔年開講		
スポーツビジネス論	2	3・4	選択			
スポーツ行政・政策論	2	3・4	選択			
スポーツ・マーケティング論	2	3・4	選択			
スポーツと表象文化	2	1	選択			

科目区分	科目名	単位数	開講年次	必選	備考	
専門応用・発展科目	レクリエーション	レクリエーション論	2	1	選択	
		レクリエーション実技Ⅰ(ゲーム)	1	1	選択	
		レクリエーション実技Ⅱ(芸術・文化)	1	1	選択	
		グループワーク・トレーニング	1	2	選択	
		レクリエーションサービス論	2	2	選択	
		レクリエーション支援実習	1	3	選択	
	専門スポーツ	体育実技Ⅰ(体づくり・ダンス)	1	2	選択	
		体育実技Ⅱ(器械運動)	1	1	選択	
		体育実技Ⅲ(陸上競技)	1	3	選択	
		体育実技ⅣA(バレーボール)	1	2	選択	
		体育実技ⅣB1(テニス)	1	1	選択	
		体育実技ⅣB2(卓球)	1	1	選択	
		体育実技ⅣC(バドミントン)	1	1	選択	
		体育実技ⅤA(バスケットボール)	1	2	選択	
		体育実技ⅤB(サッカー)	1	1	選択	
		体育実技ⅤC(ハンドボール)	1	1	選択	
		体育実技Ⅵ(ソフトボール)	1	2	選択	
		体育実技Ⅶ1(柔道)	1	2	選択	
		体育実技Ⅶ2(剣道)	1	2	選択	
		体育実技Ⅷ(水泳)	1	1	選択	
		スポーツ実技Ⅰ(ニュースポーツ)	1	1	選択	
		スノーボード	1	1・2・3・4	選択	
		野外活動	1	2	選択	
		野外教育Ⅰ	1	3・4	選択	野外教育Ⅱ同時履修
	野外教育Ⅱ	1	3・4	選択		
	スポーツ指導法Ⅰ	1	2	選択		
	スポーツ指導法Ⅱ	1	2	選択	野外教育Ⅰ同時履修	
	演習	スポーツ科学入門Ⅰ	1	2	必修	
		スポーツ科学入門Ⅱ	1	2	必修	
		スポーツ健康演習Ⅰ	1	3	必修	
		スポーツ健康演習Ⅱ	1	3	必修	
		卒業研究Ⅰ	2	4	必修	
卒業研究Ⅱ		2	4	必修		

※このカリキュラム表は2020年度入学生より適用する。

卒業要件

- 『教養科目』から32単位(必修13単位含む)以上修得すること。
- 『専門科目』から82単位(必修32単位含む)以上修得すること。
- 必修科目をすべて修得すること。
- 上記1～4の条件をすべて満たし、合計124単位以上修得すること。

教育学部 学校教育学科
教養科目

科目区分	科目名	単位数	開講年次	必修	備考	
導入科目	た大学 科目で学 群基礎	地域社会と大学教育	2	1	必修	
		知の技法	2	1	選択	
		基礎ゼミナールⅠ	1	1	必修	
		基礎ゼミナールⅡ	1	1	必修	
コモン ペイシックス	外国語 科目群	総合英語Ⅰ	1	1	必修	
		総合英語Ⅱ	1	1	選択	
		総合英語Ⅲ	1	2	選択	
		総合英語Ⅳ	1	2	選択	
		英会話Ⅰ	1	1	選択	
		英会話Ⅱ	1	1	選択	
		英会話Ⅲ	1	2	選択	
		英会話Ⅳ	1	2	選択	
		TOEICⅠ	1	1	選択	
		TOEICⅡ	1	1	選択	
	TOEICⅢ	1	2	選択		
	TOEICⅣ	1	2	選択		
	情報リ テラシー 科目群	ICTと情報倫理	2	1	必修	
		情報処理Ⅰ (WORD)	1	1	必修	
情報処理Ⅱ (EXCEL初級)		1	1	必修		
情報処理Ⅲ (EXCEL上級)		1	2	選択		
情報処理Ⅳ (パワーポイント)		1	2	選択		
情報処理Ⅴ (ホームページ)		1	3	選択		
ヒューマン ペイシックス	人間と いのちを 考える 科目群	こころと体の健康	2	1	必修	
		子どもの育ちと教育	2	1	選択	
		心理学概論	2	1	選択	
		哲学	2	2	選択	
		生命倫理	2	2	選択	
		対人関係の心理学	2	3	選択	
		生涯スポーツⅠ (集団的スポーツ)	1	1	必修	
		生涯スポーツⅡ (個人的スポーツ)	1	1	必修	
	スポーツとノーマライゼーション	1	2	選択		
	現代の 日本社会 を理解する 科目群	日本国憲法	2	1	必修	
		新聞に見る社会の動き	2	2	選択	
		日本地理	2	2	選択	
		近代日本の歴史	2	3	選択	
		経済入門	2	1	選択	
国際経済		2	2	選択		
地域を 考える科 目群	地域の歴史	2	1	選択		
	地域と文学	2	1	選択		
	地域の伝統行事	2	2	選択		
	地域社会と学校教育	2	3	選択		
	地域経済史	2	3	選択		
	地域課題研究	2	1	選択		
異文化 理解と 国際交 流科目 群	日本文化	2	1	選択		
	異文化理解	2	1	選択		
	比較文化	2	1	選択		
	文化人類学	2	3	選択		
	音楽の歴史と鑑賞	2	3	選択		
	海外研修Ⅰ	2	1・2・3・4	選択		
	海外研修Ⅱ	2	1・2・3・4	選択		
	海外事情Ⅰ	2	1・2・3・4	選択		
海外事情Ⅱ	2	1・2・3・4	選択			
環境・ 自然を 科学す る科 目群	数学の基礎	2	1	選択		
	生物学の基礎	2	1	選択		
	化学の基礎	2	1	選択		
	基礎統計学	2	2	選択		
	地球環境と人間生活	2	2	選択		
	地域環境と生態	2	3	選択		
	ごみ処理と循環型社会	2	3	選択		
	環境社会学	2	3	選択		
キャリア 形成 科目群	キャリア入門	2	1	選択		
	キャリアデザインⅠ	1	3	選択		
	キャリアデザインⅡ	1	3	選択		
	ワークインフォメーション	2	4	選択		
	学校ボランティア活動	1	1	選択		

教育学部 学校教育学科

専門科目

科目区分	科目名	単位数	開講年次	必選	備考	
専門基礎科目	教職に関する科目群	教職論(初中等)	2	1	必修	
		教育基礎論(初中等)	2	1	必修	
		教育史(初中等)	2	3	選択	
		教育心理学(初中等)	2	2	必修	
		発達心理学(初中等)	2	3	必修	
		教育制度論(初中等)	2	2	必修	
		学校経営(初中等)	2	3	選択	
		教育課程総論(初中等)	2	2	必修	
		初等国語科指導法	2	1	必修	
		初等社会科指導法	2	2	必修	
		初等算数科指導法	2	2	必修	
		初等理科指導法	2	2	必修	
		初等生活科指導法	2	2	必修	
		初等英語科指導法	2	3	必修	
		初等音楽科指導法	2	2	必修	
		初等図画工作科指導法	2	2	必修	
		初等家庭科指導法	2	2	必修	
		初等体育科指導法	2	2	必修	
		道德教育指導論(初中等)	2	2	必修	
		特別活動指導論(初中等)	2	2	必修	
		総合的な学習の時間の指導法(初中等)	2	3	選択	
	教育方法論(初中等)	2	1	必修		
	生徒指導・進路指導(初中等)	2	2	必修		
	教育相談(初中等)	2	2	必修		
	教科に関する科目群	国語科概論	2	1	必修	
		社会科概論	2	2	必修	
		算数科概論	2	1	必修	
自然科学概論		2	2	必修		
生活科概論		2	1	選択		
英語科概論		2	2	選択		
音楽(歌唱)		1	1	必修		
音楽(器楽)		1	1	選択		
基礎造形Ⅰ		1	1	選択		
基礎造形Ⅱ		1	1	選択		
家庭科概論		2	1	選択		
体育Ⅰ		1	1	必修		
体育Ⅱ		1	2	必修		
専門応用・発展科目	教材研究科目群	国語科教材研究	1	2・3	選択	
		社会科教材研究	1	2・3	選択	
		算数科教材研究	1	2・3	選択	
		理科教材研究	1	2・3	選択	
		英語科教材研究	1	3・4	選択	
		体育科教材研究	1	2・3	選択	
		国語科教材演習	1	3・4	選択	
		算数科教材演習	1	3・4	選択	
	教育深化と心理科目群	授業法の基礎	2	2	選択	
		教育制度研究	2	3	選択	
		教育史研究	2	3	選択	
		教職教養特別演習	1	3	選択	
		特別支援教育入門	2	1	必修	
		子どもの学びをつくる	2	3	選択	
		義務教育の未来を考える	2	3	選択	
		学校心理学	2	3	選択	
		認知心理学	2	3	選択	
臨床心理学(発達障害入門)	2	3	選択			
カウンセリング入門	2	3	選択			

科目区分	科目名	単位数	開講年次	必選	備考	
専門 応用・ 発展 科目	教育実践 科目群	介護等体験入門	1	1	必修	
		地域活動実習	1	2	選択	
		学校インターンシップ	1	2	選択	
		教育実践特講	2	2	選択	
		地域学校教育活動	1	3	選択	
	教育 実習 科目 目群		初等教育実習事前・事後指導	1	2・3	選択
			初等教育実習	4	3	選択
			中等教育実習事前・事後指導	1	3・4	選択
			中等教育実習Ⅰ	4	4	選択
			中等教育実習Ⅱ	2	4	選択
			教職実践演習(初中等)	2	4	選択
	特別 支援 教育 に 関 す る 科 目 群		特別支援教育総論	2	2	選択
			知的障害児の心理・生理・病理	2	3	選択
			肢体不自由児の心理・生理・病理	2	3	選択
			病弱児の心理・生理・病理	2	3	選択
			知的障害児の教育課程と指導法	2	3	選択
			肢体不自由児の教育課程と指導法	2	3	選択
			病弱児の教育課程と指導法	2	3	選択
			視覚障害児教育総論	2	3	選択
			聴覚障害児教育総論	2	3	選択
			発達障害児・者等の支援と教育	2	3	選択
			障害児臨床支援演習Ⅰ	2	2	選択
			障害児臨床支援演習Ⅱ	2	3	選択
			特別支援学校教育実習	3	4	選択
	英語 教 育 に 関 す る 科 目 群		英語学概論	2	1	選択
			英語音声学概論	2	1	選択
			英語史概論	2	3	選択
			英語発声演習	2	3	選択
			英文法演習	2	3	選択
			英米文学概論	2	2	選択
			英米文学演習Ⅰ	2	3	選択
			英米文学演習Ⅱ	2	3	選択
			ReadingⅠ	2	2	選択
			ReadingⅡ	2	2	選択
			Public Speaking	2	2	選択
			Writing SkillsⅠ	2	2	選択
			Writing SkillsⅡ	2	2	選択
			Discussion & Presentation	2	3	選択
			Communicative EnglishⅠ	2	3	選択
			Communicative EnglishⅡ	2	3	選択
			TOEIC総合演習Ⅰ	2	3	選択
			TOEIC総合演習Ⅱ	2	3	選択
		TOEIC総合演習Ⅲ	2	4	選択	
		TOEIC総合演習Ⅳ	2	4	選択	
		TOEFL演習Ⅰ	2	2	選択	
		TOEFL演習Ⅱ	2	2	選択	
		異文化理解概論	2	1	選択	
		英語圏文化演習Ⅰ	2	3	選択	
		英語圏文化演習Ⅱ	2	3	選択	
		異文化交流海外研修	2	2	選択	
		国際交流演習	2	2	選択	
		英語科指導法Ⅰ	2	2	選択	
		英語科指導法Ⅱ	2	2	選択	
	英語科指導法Ⅲ	2	3	選択		
	英語科指導法Ⅳ	2	3	選択		
専門 研究 科目 群		教職入門ゼミナール	1	2	必修	
		教職研究基礎ゼミナール	1	2	必修	
		教職研究ゼミナール	2	3	必修	
		卒業研究専門ゼミナール(卒業研究含む)	4	4	必修	

※このカリキュラム表は2019年度入学生より適用する。

卒業要件

- 『教養科目』から30単位(必修15単位含む)以上修得すること。
- 『専門科目』から84単位(必修64単位含む)以上修得すること。
- 必修科目をすべて修得すること。
- 上記1~4の条件をすべて満たし、合計124単位以上修得すること。

栄養士の資格取得に必要な授業科目・単位数（第22条2に関する科目）

	栄養士学校 指定規則に定める 教育内容	単位数		本学が開講する授業科目	配 当 年 次	単位数		備考	
		講義 又は 演習	実験 又は 実習			講義又 は 演習	実験又 は 実習		
									必修
専 門 分 野	社会生活と健康	4	4	公衆衛生学Ⅰ	2	2			
				公衆衛生学Ⅱ	2	2			
				社会福祉概論	2	2			
				小計			6		
	人体の構造と機能	8	4	生理学	2	2			
				生理学実習	2		1		
				解剖学Ⅰ	1	2			
				解剖学Ⅱ（含実習）	1	2	1		
				生化学	2	2			
				生化学実験	2		1		
				医学概論	1	2			
				小計			10	3	
	食品と衛生	6	6	食品学総論	1	2			
				食品学各論	1	2			
				食品機能論	3	2			
				食品衛生学	1	2			
食品衛生学実験				2		1			
			小計			8	1		
栄養と健康	8	10	基礎栄養学	1	2				
			基礎栄養学実験	2		1			
			応用栄養学Ⅱ	2	2				
			応用栄養学実習	3		1			
			食事摂取基準論	2	2				
			臨床栄養学総論Ⅰ	3	2				
			臨床栄養学実習Ⅰ	3		1			
			小計			8	3		
栄養の指導	6	10	栄養教育論Ⅰ	2	2				
			栄養教育論Ⅱ	3	2				
			栄養教育実習	3		1			
			公衆栄養学Ⅰ	3	2				
			小計			6	1		
給食の運営	4	10	調理学	1	2				
			調理学実習Ⅰ	1		1			
			調理学実習Ⅱ	1		1			
			応用調理学実習	2		1			
			給食計画論	2	1				
			給食実務論	2	1				
			給食管理実習	2		1			
			給食経営管理論	2	2				
			給食経営管理実習	3		1			
			臨地実習Ⅰ（給食の運営）	3		1			
			小計			6	6		
合計	36	14	合計			44	14		
									50

管理栄養士の国家試験受験資格取得に必要な授業科目・単位数（第22条2に関する科目）

	管理栄養士学校 指定規則に定める 教育内容	単位数		本学が開講する授業科目	配 当 年 次	単位数		備考
		講義 又は 演習	実験 又は 実習			講義又 は 演習 必修	実験又 は 実習 必修	
専 門 基 礎 分 野	社会環境と健康	6	10	公衆衛生学Ⅰ	2	2		
				公衆衛生学Ⅱ	2	2		
				社会福祉概論	2	2		
				小計		6		
	人体の構造と機能・ 疾病の成り立ち	14	10	生理学	2	2		
				生理学実習	2		1	
				解剖学Ⅰ	1	2		
				解剖学Ⅱ（含実習）	1	2	1	
				生化学	2	2		
				生化学実験	2		1	
				微生物学	2	2		
				病理学	2	2		
				医学概論	1	2		
				臨床医学各論Ⅰ	3	2		
	臨床医学各論Ⅱ	3	2					
小計		18	3					
食べ物と健康	8	10	食品学総論	1	2			
			食品学各論	1	2			
			食品学実験	1		1		
			食品機能論	3	2			
			食品衛生学	1	2			
			食品衛生学実験	2		1		
			食品化学実験	1		1		
			調理学	1	2			
			調理学実習Ⅰ	1		1		
			調理学実習Ⅱ	1		1		
			応用調理学実習	2		1		
食品の官能評価・鑑別法（統計処理を含む）	3		1					
小計		10	7					
計	28	10	計		34	10		

	管理栄養士学校 指定規則に定める 教育内容	単位数		本学が開講する授業科目	配 当 年 次	単位数		備考
		講義 又は 演習	実験 又は 実習			講義又 は 演習	実験又 は 実習	
専 門 分 野	基礎栄養学	2	8	基礎栄養学	1	2		
				基礎栄養学実験	2		1	
	小計			2	1			
	応用栄養学	6		応用栄養学Ⅰ	2	2		
				応用栄養学Ⅱ	2	2		
				応用栄養学実習	3		1	
				食事摂取基準論	2	2		
	小計			6	1			
	栄養教育論	6		栄養教育論Ⅰ	2	2		
				栄養教育論Ⅱ	3	2		
				栄養教育実習	3		1	
				基礎カウンセリング演習	2	2		
	小計			6	1			
	臨床栄養学	8		臨床栄養学総論Ⅰ	3	2		
				臨床栄養学総論Ⅱ	3	2		
臨床栄養学各論Ⅰ			3	2				
臨床栄養学各論Ⅱ			3	2				
臨床栄養学実習Ⅰ			3		1			
臨床栄養学実習Ⅱ			3		1			
小計			8	2				
公衆栄養学	4	公衆栄養学Ⅰ	3	2				
		公衆栄養学Ⅱ	3	2				
		公衆栄養学実習	3		1			
小計		4	1					
給食経営管理	4	給食計画論	2	1				
		給食実務論	2	1				
		給食管理実習	2		1			
		給食経営管理論	2	2				
		給食経営管理実習	3		1			
小計		4	2					
総合演習	2	総合栄養学演習Ⅱ（臨地実習事前事後指導）	3	1				
		総合栄養学演習Ⅲ（臨地実習事前事後指導）	4	1				
小計		2						
臨地実習	4	臨地実習Ⅰ（給食の運営）	3		1			
		臨地実習Ⅱ（給食経営管理論・臨床栄養学）	4		2			
		臨地実習Ⅲ（公衆栄養学）	4		1			
		臨地実習Ⅳ（臨床栄養学）	4		1			
小計			4					
計	32	12	計		32	12		
合計	60	22	合計		66	22		
	82				88			

どちらか1科目
1単位を選択必修

小学校教諭一種免許状、中学校及び高等学校教諭一種免許状(英語)取得に必要な授業科目・単位数

【教科及び教職に関する科目】(小・中・高 共通科目)

免許法施行規則に定める科目区分等	本学が開講する授業科目	授業形態	配当年次	単位数		単位数		単位数		備考	
				小一種		中一種		高一種			
				必修	選択	必修	選択	必修	選択		
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育基礎論(初中等)	講義	1	2		2		2		
		教育史(初中等)	講義	3		2		2		2	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校への対応を含む。)	教職論(初中等)	講義	1	2		2		2		
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育制度論(初中等)	講義	3	2		2		2		
		学校経営(初中等)	講義	3		2		2		2	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学(初中等)	講義	2	2		2		2		
		発達心理学(初中等)	講義	3	2		2		2		
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育入門	講義	1	2		2		2		
教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程総論(初中等)	講義	2	2		2		2			
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳教育指導論(初中等)	講義	2	2		2			2	小・中免のみ必修
	総合的な学習の時間の指導法	総合的な学習の時間の指導法(初中等)	講義	3	2		2		2		
	特別活動の指導法	特別活動指導論(初中等)	講義	2	2		2		2		
	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	教育方法論(初中等)	講義	1	2		2		2		
	生徒指導の理論及び方法	生徒指導・進路指導(初中等)	講義	2	2		2		2		
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法										
教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	教育相談(初中等)	講義	2	2		2		2			
教育実践に関する科目	教育実習	初等教育実習事前・事後指導	講義	2・3	1						後・通年
		初等教育実習	実習	3	4						通年 小免取得者
		中等教育実習事前・事後指導	講義	3・4			1		1		後・通年
		中等教育実習Ⅰ	実習	4			4				通年 中免取得者
		中等教育実習Ⅱ	実習	4					2		通年 高免のみ取得者
	教職実践演習	教職実践演習(初中等)	演習	4	2		2		2		
合計					33	4	33	4	29	6	

【教職員免許法施行規則第66条の6に定める科目】(小・中・高 共通科目)

免許法施行規則に定める科目区分等	本学が開講する授業科目	授業形態	配当年次	単位数		備考
				必修	選択	
日本国憲法	日本国憲法	講義	1	2		
体育	生涯スポーツⅠ(集团的スポーツ)	実技	1	1		
	生涯スポーツⅡ(個人的スポーツ)	実技	1	1		
外国語コミュニケーション	英会話Ⅰ	講義	1	1		
	英会話Ⅱ	講義	1	1		
情報機器の操作	情報処理Ⅰ(WORD)	演習	1	1		
	情報処理Ⅱ(EXCEL初級)	演習	1	1		
合計				8		

小学校教諭一種免許状取得に必要な授業科目・単位数

【教科及び教科の指導法に関する科目】

免許法施行規則に定める科目区分等	本学が開講する授業科目	授業形態	配当年次	単位数		備考
				必修	選択	
教科に関する専門的事項	国語 (書写を含む)	国語科概論	講義	1	2	
	社会	社会科概論	講義	2	2	
	算数	算数科概論	講義	1	2	
	理科	自然科学概論	講義	2	2	
	生活	生活科概論	講義	1		2
	音楽	音楽(歌唱)	実技	1	1	
		音楽(器楽)	実技	1		1
	図画工作	基礎造形Ⅰ	実技	1		1
		基礎造形Ⅱ	実技	1		1
	家庭	家庭科概論	講義	2		2
	体育	体育Ⅰ	実技	1	1	
		体育Ⅱ	実技	2	1	
外国語	英語科概論	講義	2	2		
小計				13	7	
各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	国語 (書写を含む。)	初等国語科指導法	講義	1	2	
	社会	初等社会科指導法	講義	2	2	
	算数	初等算数科指導法	講義	2	2	
	理科	初等理科指導法	講義	2	2	
	生活	初等生活科指導法	講義	2	2	
	音楽	初等音楽科指導法	講義	2	2	
	図画工作	初等図画工作科指導法	講義	2	2	
	家庭	初等家庭科指導法	講義	2	2	
	体育	初等体育科指導法	講義	2	2	
	外国語	初等英語科指導法	講義	2	2	
小計				20	0	
合計				33	7	

【大学が独自に設定する科目】

免許法施行規則に定める科目区分	本学が開講する授業科目	授業形態	配当年次	単位数		備考
				必修	選択	
教科又は教職に関する科目	地域学校教育活動	実習	3		1	前・後
	学校インターンシップ	実習	2		1	
	地域活動実習	実習	2		1	
	教育実践特講	講義	2		2	
	介護等体験入門	講義	2	1		
合計				1	5	

中学校教諭一種免許状・高等学校教諭一種免許状(英語)取得に必要な授業科目・単位数

【教科及び教科の指導法に関する科目】

免許法施行規則に定める科目区分等	本学が開講する授業科目	授業形態	配当年次	単位数		備考	
				必修	選択		
教科及び教科の指導法に関する科目 教科に関する専門的事項	英語学	英語学概論	講義	1	2		
		英語音声学概論	講義	1	2		
		英語史概論	講義	3	2		
		英語発声演習	演習	3		2	
		英文法演習	演習	3		2	
	英語文学	英米文学概論	講義	2	2		
		英米文学演習Ⅰ	演習	3		2	
		英米文学演習Ⅱ	演習	3		2	
	英語コミュニケーション	ReadingⅠ	演習	2	2		
		ReadingⅡ	演習	2		2	
		Public Speaking	演習	2	2		
		Writing SkillsⅠ	演習	2	2		
		Writing SkillsⅡ	演習	2		2	
		Discussion & Presentation	演習	3	2		
		Communicative EnglishⅠ	演習	3	2		
	異文化理解	Communicative EnglishⅡ	演習	3		2	
		異文化理解概論	講義	1	2		
		英語圏文化演習Ⅰ	演習	3		2	
		英語圏文化演習Ⅱ	演習	3		2	
		異文化交流海外研修	演習	2		2	
	各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	異文化交流演習	演習	3・4		2	どちらか1科目2単位を選択必修 観光ホスピタリティ学科開講科目
		英語科指導法Ⅰ	講義	2	2		
		英語科指導法Ⅱ	講義	2	2		
		英語科指導法Ⅲ	講義	3	2		
合計	英語科指導法Ⅳ	講義	3	2		高免は選択	
				28	22		

【大学が独自に設定する科目】

免許法施行規則に定める科目区分等	本学が開講する授業科目	授業形態	配当年次	単位数		備考
				必修	選択	
大学が独自に設定する科目	学校教育活動	講義	2~4		1	前・後
	地域教育活動	講義	1~4		1	前・後
	教育実践特講	講義	2・3		2	
	教育心理学特講	講義	3・4		2	
	発達心理学特講	講義	3・4		2	
	教職特講演習Ⅰ	講義	2~4		2	
	教職特講演習Ⅵ	講義	2~4		2	
	教職特講演習Ⅶ	講義	2・3		2	
合計	教職特講演習Ⅷ	講義	2~4		2	
					16	

特別支援学校教諭一種免許状取得に必要な授業科目・単位数

免許法施行規則に定める科目区分	本学が開講する授業科目	授業形態	配当年次	単位数		備考
				必修	選択	
特別支援教育の基礎理論に関する科目	特別支援教育総論	講義	2	2		
特別支援教育領域に関する科目	知的障害児の心理・生理・病理	講義	3	2		
	肢体不自由児の心理・生理・病理	講義	3	2		
	病弱児の心理・生理・病理	講義	3	2		
	知的障害児の教育課程と指導法	講義	3	2		
	肢体不自由児の教育課程と指導法	講義	3	2		
	病弱児の教育課程と指導法	講義	3	2		
	障害児臨床支援演習Ⅰ	演習	2	2		
	障害児臨床支援演習Ⅱ	演習	3	2		
免許状に定めることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目	視覚障害児教育総論	講義	3	2		
	聴覚障害児教育総論	講義	3	2		
	発達障害児・者等の支援と教育	講義	3	2		
心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育実習	特別支援学校教育実習	実習	4	3		通年、事前・事後指導1単位を含む
合計				27		

別表(8)

学芸員資格取得に必要な授業科目・単位数（第23条2に関する科目）

博物館法施行規則に定める科目		本学における開講科目				
科目名	単位数	科目名	配当年次	区分	単位数	備考
生涯学習概論	2	生涯学習概論	3	必修	2	
博物館概論	2	博物館概論	2	必修	2	
博物館経営論	2	博物館経営論	4	必修	2	
博物館資料論	2	博物館資料論	3	必修	2	
博物館資料保存論	2	博物館資料保存論	3	必修	2	
博物館展示論	2	博物館展示論	3	必修	2	
博物館教育論	2	博物館教育論	3	必修	2	
博物館情報・メディア論	2	博物館情報・メディア論	3	必修	2	
博物館実習	3	博物館実習	4	必修	3	
計	19	計			19	

別表(9)

社会教育士に関する授業科目・単位数（第23条3に関する科目）

法令上に定める科目		本学における開講科目				
科目名	単位数	科目名	配当年次	区分	単位数	備考
生涯学習概論	4	生涯学習概論Ⅰ	2	必修	2	
		生涯学習概論Ⅱ	2	必修	2	
生涯学習支援論	4	生涯学習支援論Ⅰ	3	必修	2	
		生涯学習支援論Ⅱ	3	必修	2	
社会教育経営論	4	社会教育経営論Ⅰ	2	必修	2	
		社会教育経営論Ⅱ	2	必修	2	
社会教育特講	8	博物館概論	2	選択	2	必修（2科目4単位） に加え、選択科目か ら2科目4単位以上を 修得すること。
		環境保全と防災	2	選択	2	
		共生社会論	2	選択	2	
		地域振興論Ⅰ	2	必修	2	
		地域文化論	3	選択	2	
		地域福祉Ⅰ	2	選択	2	
		生活環境論	2	選択	2	
地域の行財政	2	必修	2			
社会教育実習	1	社会教育実習	3	必修	4	
社会教育演習 社会教育実習 社会教育課題研究 のうち一以上の科目	3					
計	24	計			24	

別表(10)

司書教諭に関する科目

授業科目	単位数
学校経営と学校図書館	2
学校図書館メディアの構成	2
学習指導と学校図書館	2
読書と豊かな人間性	2
情報メディアの活用	2
合計	10

別表(11)

学部学科名 費目	総合経営学部		人間健康学部	
	総合経営学科	観光ホスピタリティ学科	健康栄養学科	スポーツ健康学科
入学検定料	35,000 円	35,000 円	35,000 円	35,000 円
入学金(入学時のみ)	250,000 円	250,000 円	250,000 円	250,000 円
授業料(年額)	700,000 円	700,000 円	800,000 円	800,000 円
施設費(年額)	300,000 円	300,000 円	350,000 円	350,000 円
実習費(年額)	0 円	0 円	100,000 円	0 円

学部学科名 費目	教育学部
	学校教育学科
入学検定料	35,000 円
入学金(入学時のみ)	250,000 円
授業料(年額)	800,000 円
施設費(年額)	300,000 円
実習費(年額)	50,000 円

なお、大学入試センター試験を利用する際の入学検定料は別途定める。

休学中の在籍料は次のとおりとする。

年額 50,000円 前期 25,000円 後期 25,000円